

野沢さんの選挙（笛吹市議選）の総括

川村 晃生

野沢今朝幸さん（みどり・山梨 / 副代表）が、三期目の当選を目指して立候補した笛吹市議会議員選挙が、10月23日投開票され、その結果1090票を獲得し、当選しました。

さて、今度の選挙をいちおう総括して、今後の参考にさせていただきたいと思います。今回の選挙では、ポスター貼りと街宣カーの運転が、私たち「みどり・山梨」の仕事から除外されましたので、比較的小さい労力でできたと思いますが、課題も多く残りました。そこで私たちの仕事の主だったものについて、反省点も含め感想を記しておきます。

(1) リーフレットの配布

9月下旬が比較的天候が悪かったため、思うに任せないところがありました。「みどり・山梨」から参加したのは7名でした。野沢さんの兄上が参加されて、野沢さん自身も配られたのですが、印刷した1万枚のうち1000枚余が、配布しきれず残りました。せっかく印刷したものですし、リーフレットの配布効果はかなり高いので、もったいないことです。



(2) 公選ハガキの宛先記入

在宅の仕事ですので、比較的多くの方々のご協力が得られ、無事に10月18日に2000通を送付することができました。

（40通ほど返送あり）

(3) 事務所詰め

中心になったのは3名で、部分的に2～3名が参加。一部の方々にかかなりの負担となりました。少なくとも朝9時頃から夜7時頃までは在室し、公選ハガキの郵便番号の書入れを終えたあとは、支援者の応接、他候補の選挙カーへの

手振り挨拶が主な仕事です。大した仕事はないのですが、そこに居続ける必要がありますので、休むわけにはいきません。

(4) ウグイス嬢

中心になったのが一人で、他に3名が中途参加。また途中でカラスさん（男性のウグイス）が手伝ってくれましたので、かなり助かりましたが、一人への負担が多すぎました。ウグイスは朝8時から夜7時半～8時頃まで乗り続け、声を出し続けるので、重労働です。

(5) 総括

① 選挙結果について

前回より投票率が落ちたものの、野沢票も 500 票余減りました。市長選で野沢さんが推した倉嶋氏が惨敗したことに影響を受けたものと思われます。大躍進を期待していたのですが、今回の減票の原因を探り、次に備えなければならないと思います。政策的にも人間的にも、野沢さんは笛吹市政にどうしても必要な存在ですから、捲土重来（落選ではないのに）を期して皆で後押ししましょう。

② 選挙運動について

全体に参加者が高齢化し、体力などが低下しています。したがって次の選挙があるとすれば、今回のようにはいかないと思います。そこで、一部協力偏重型から全体協力平準型に転換する必要があると思います。たとえば、事務所詰め（とくに午前中）の担当を多くの方々に振り分けること、ウグイス嬢をいっそう若い方々の参加を促して、労力の分担をはかること、またリーフレット配布への参加も早目に決めて、お願いしておくこと、などが必要です。（リーフレット配布も都市部とちがって、家が比較的離れていて、郵便受けが門からかなり邸内に入らないといけないうえ、効率が悪い。）そのためには選対会議を選挙運動より 1～2 ヶ月前に開き、早めに担当表を作って、できるだけ労力の分散をはかるべきだと感じました。



川村個人としては、野沢さんにはいずれは笛吹市長選に出馬してほしいと思っていますが、もしそうなったら、とても現状のような形では担い切れません。野沢さんの選挙はボランティア型を基本にやりたいと思いますが、そのためには、各自が選挙期間中の労力をいかに提供できるかを考えないと、支えきれないと思います。

今後の参考までに記しました。いろいろとご苦労さまでした。野沢さんもお疲れさまでした。